



平成19年4月11日

各 位

会 社 名 中部電力株式会社
代 表 者 名 取締役社長 三田 敏雄
(コード番号 9502 東証・大証・名証1部)
問 合 せ 先 経理部決算グループ長 齊藤 俊雄
(TEL. 052-951-8211)

平成19年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年1月31日の第三四半期決算発表時に公表いたしました平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 業績予想数値の修正

【通 期】(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

a. 連結業績予想

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	22,050億円程度	1,450億円程度	880億円程度
今回修正予想(B)	22,100億円程度	1,750億円程度	880億円程度
増 減 額 (B-A)	50億円	300億円	—
増 減 率 (%)	0.2%	20.7%	—
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	21,505億円	2,196億円	1,194億円

b. 個別業績予想

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	21,200億円程度	1,350億円程度	830億円程度
今回修正予想(B)	21,170億円程度	1,620億円程度	640億円程度
増 減 額 (B-A)	△30億円	270億円	△190億円
増 減 率 (%)	△0.1%	20.0%	△22.9%
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	20,693億円	2,059億円	1,116億円

2. 修正の理由

a. 売上高

連結業績予想につきましては、暖冬影響等による販売電力量の減少はあるものの、その他の事業を営む連結子会社の売上の増加により増加する見込みです。

個別業績予想につきましては、販売電力量の減少に伴い減少する見込みです。

b. 経常利益

連結業績予想・個別業績予想ともに、発電設備の効率運用や燃料価格の低下による燃料費の減少や修繕費、委託費の減少により増加する見込みです。

c. 当期純利益

連結業績予想につきましては、経常利益の増加はあるものの、中部テレコミュニケーション株式会社の株式に係る有価証券評価損計上に伴うのれん一括償却額（163億円）および水力発電所建設中止損失（52億円）の特別損失への計上により、前回発表予想と同じとなる見込みです。

個別業績予想につきましては、経常利益の増加はあるものの、中部テレコミュニケーション株式会社の株式などの有価証券評価損（356億円）および水力発電所中止損失（52億円）の特別損失への計上により、前回発表予想より減少する見込みです。

〔主要諸元表〕

項 目	今回修正予想	前回発表予想
販 売 電 力 量 (億 kWh)	1, 3 2 7 程度	1, 3 2 9 程度
原油 C I F 価格 (\$ / b)	6 4 程度	6 4 程度
為 替 レ ー ト (円 / \$) (インターバンク)	1 1 7 程度	1 1 7 程度

以 上